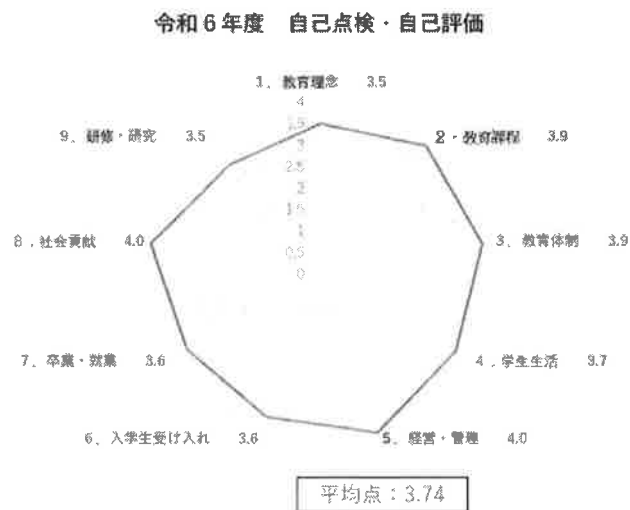


三重看護専門学校 自己点検・自己評価結果（令和6年度）

評価は4段階

（4：よくできている 3：できている 2：多少課題がある 1：かなり課題がある）



領域	評価点
I：教育理念・教育目的・教育目標	3.5
II：教育課程の考え方	3.7
III：教育体制	3.9
IV：学生生活	3.8
V：経営・管理	4.0
VI：入学生の受入れ	3.7
VII：卒業・就業・進学の状況	3.4
VIII：社会貢献	4.0
IX：研修・研究活動	3.5
	<u>平均点 3.72</u>

#### (総評)

令和6年度の各大項目の総合評価はチャートが示すように平均点 3.72 (4 点満点) であり、4 : よくできている 3 : できているの評価がほとんどであった。

教育課程に対しては、新カリキュラムに移行し3年が経過し科目・単位・時間は指定規則通り適正に実施した。1年次 1,155 時間と過密であるが時間割に自己学習や休講のコマを入れたり、終講試験を分散し学生が取り組みやすい工夫をした。後期のフリーのコマは学生の主体性を尊重し、家庭学習の時間を多くした結果、後期の再試験者が減少した。次年度は引き続き効果を見極める必要がある。

臨地実習に対しては、「成人看護学実習Ⅰ」の学内と隣地の内容の見直しや「基礎看護学実習Ⅲ」にルーブリック評価を取り入れることで評価内容が明確になり、学生・教員ともに共通理解ができた。

本年度の卒業生は 37 名であった。97.2%が県内に就職、津市内には 64.9%が就職。昨年より 9.7 ポイント上昇し目標達成ができた。

課題である入学生の受入れは、専門学校での学生確保困難に向け、試験内容の簡素化や試験回数を増やすなど変更したが開校以来の厳しい局面を迎えた。次年度に向け入学試験編成委員会を中心に更なる学生確保に工夫をしていく必要がある。

学校側も学生のための環境づくりや学生自身の多様性を意識しながら、時代にあった学生の善き学びができる学校へ繋げていきたい。

#### (学校関係者評価委員のコメント)

- ・学校の広報活動として SNS(instagram,Facebook)の活用は必須である。今後は在校生など若年層のアイデアも取り入れ、外部に発信することで多くの現役生に興味を持ってもらえるのではないかと。
- ・社会人の受験者を多く確保できるよう教育訓練給付金制度の申請を予定していることは良いと考える。
- ・講義において、近年の学生は質問することが少なく、本当に理解しているかどうか不明な部分もある。また、座学に身が入らない学生が増えつつある。座学の必要性を学んでもらうために、医療現場で働いている卒業生との意見交換会を企画してはどうか。